

新組織体制

～市場ニーズに迅速に適応し、お客様サービスのさらなる向上を目指して～

ハルナグループは1996年にハルナビバレッジ株式会社を創業し、本年で22年目を迎えることができました。創業以来、PET飲料製造工場と自社倉庫の建設稼働を適時行うとともに、「独創性ある飲料プロデューサー」として、商品企画・開発から生産、物流までを一体として、皆様方のご期待に添えるよう取り組んでまいりました。このように、弊社グループが今日まで業容を拡大できたのも、ひとえに関係各位のご指導とご支援の賜物と深く感謝申し上げる次第です。

2017年4月には商品開発・販売・製造の一部を統合させていただき、顧客志向での対応を生産現場まで浸透させ、顧客サービスのスピード化と向上を図ってまいりました。しかしながら、飲料業界におきましては、少子高齢化、消費構造の多様化、原材料・エネルギー価格の高騰など多くの要因のもと、市場競争の一層の激化が急速に進展しております。このような変化のなか、私どもの強みでもあります商品の企画・開発から生産、そしてお客様に商品をお届けするまでの総合力を活かしたビジネスモデルをさらに進化させる必要があると判断し、このたび組織再編を行わせていただくこととしました。

組織再編の目的

昨今、需要の多様化や個別対応を可能とするサービスが求められています。商品の企画・開発から生産、そしてお客様に商品をお届けするまでの総合力が私どもの強みでもあります。それらを活かしたビジネスモデルをさらに進化させるため、機能別に分社した組織体制において各社が磨き上げてきた専門性を融合し、商品企画開発・販売・製造・物流までのバリューチェーン一体での付加価値を高めてまいります。また、多様化、個別化、高度化する市場ニーズに迅速に適応し、お客様サービスのさらなる向上を目指してまいります。

～2018年度からの新体制～

ハルナビバレッジ株式会社（持株会社・経営戦略・人事・財務経理）

ハルナプロデュース株式会社（商品企画開発・営業・ハルナブランド・貿易購買・生産・SCM・物流・情報・研究開発）

HARUNA 株式会社（ブランドマネジメント・海外戦略）

HARUNA Asia(Thailand) Co.,Ltd.（アジアマーケット）

ハルナビバレッジ

Haruna Beverage Inc.

持株会社・経営戦略・人事・財務経理

創 業	1996 年 2 月 23 日		
所在地	群馬本社：〒 370-3531 群馬県高崎市足門町 39-3 TEL：027-387-0101（代）FAX：027-387-0102 東京本社：〒 103-0027 東京都中央区日本橋 3-8-4 日本橋さくら通りビル 2F TEL：03-3275-0191（代）FAX：03-3275-0192		
資本金	4 億 2,890 万円（発行済株式数 8,918 株）	連結売上高	219 億円（2018 年 3 月末）
役 員	取締役 名誉会長（創業者） 青木清志 代表取締役社長（CEO） 青木麻生 常務取締役（CFO） 栗原健一 取締役（海外事業・HARUNA ブランド統括） 青木日出生 取締役【非常勤】 小出信介 取締役【社外】 須齋 嵩 取締役【社外】 岡 俊明 監査役【常勤】 菅谷重信 監査役【常勤】 小林欣司 監査役【社外】 小出亮介 執行役員（総務人事本部長） 藤井 満		

今期から、各社が磨き上げてきた専門性を融合し、商品企画開発・販売・製造・物流までのバリューチェーン一体での組織体制がスタートしました。この再編は、一つひとつの事業を足し合わせただけの単純な足し算組織ではありません。これまで培ってきた各事業から生まれる人財、モノ、金、情報を縦軸と横軸を組み合わせたなかで再投資し、「経営の効率性とスピード」「統合によるシナジー効果」を最大限発揮し、持続的な企業価値の向上を目指しております。

そのためには、現在の延長線上だけでの思考や改善だけでなく、いかに組織が全体最適で機能し、多様化、個別化、高度化する市場ニーズに迅速に適応していくか、真剣に考え実行していくことが必要です。

ハルナビバレッジは持株会社として、事業戦力を客観的に分析評価し、グループ全体最適の観点に立った経営資源の再配分方針を明確にするとともに、事業の選択と集中を的確に行い、経営の効率化と企業価値の最大化を目指し、グループを持続的に発展させステークホルダーの皆様への責任を果たしてまいります。



ハルナビバレッジ株式会社
常務取締役
（最高財務責任者CFO）
栗原 健一

ハルナプロデュース

Haruna Produce Inc.

マーケティング本部（営業・ディストリビューション・ブランディング・商品開発・ウエルネスサイエンス研究所）

生産本部（製造・品質保証・社会環境）

創 業	2009 年 4 月 1 日	資本金	4 億円																						
所在地	本 社 ・ 生 産 本 部 ： 〒 370-3531 群馬県高崎市足門町 39-1 TEL：027-372-6911（代） FAX：027-372-6912 マーケティング本部：〒 103-0027 東京都中央区日本橋 3-8-4 日本橋さくら通りビル 2F TEL：03-3275-0191 FAX：03-3275-0192 ディストリビューション：〒 370-3504 群馬県北群馬郡榛東村広馬場 3044-1 TEL：0279-25-8385（代） FAX：0279-54-6115 〒 379-1307 群馬県利根郡みなかみ町政所 1011 TEL：0278-62-1115 FAX：0278-62-1718 商 品 開 発： 〒 370-3531 群馬県高崎市足門町 39-3 TEL：027-384-4747 FAX：027-310-0070 購 買： 〒 370-3531 群馬県高崎市足門町 39-1 TEL：027-372-6913 FAX：027-372-5877 〒 379-1307 群馬県利根郡みなかみ町政所 1011 TEL：0278-62-1112 FAX：0278-62-1144 ハルナプラント： 〒 370-3531 群馬県高崎市足門町 39-1 TEL：027-372-5875（代） FAX：027-310-0717 タニガワプラント： 〒 379-1307 群馬県利根郡みなかみ町政所 1011 TEL：0278-62-1111（代） FAX：0278-62-1144 和歌山プラント： 〒 640-0441 和歌山県海南市七山 711-1 TEL：073-486-0231（代） FAX：073-486-0210 ウエルネスサイエンス研究所： 〒 370-3531 群馬県高崎市足門町 39-3 TEL：027-372-1230（代） FAX：027-372-1255 大 阪 事 務 所： 〒 532-0011 大阪市淀川区西中島 6-7-3 第 6 新大阪ビル 903 号 TEL：06-6195-1755（代） FAX：06-6195-1775																								
役 員	<table><tr><td>代表取締役社長 ハルナグループ COO</td><td>中澤 幹彦</td></tr><tr><td>取締役兼専務執行役員 (CTO)</td><td>古市 直也</td></tr><tr><td>取締役兼専務執行役員 (CMO)</td><td>山崎 敦也</td></tr><tr><td>常務執行役員</td><td>三原 修一</td></tr><tr><td>常務執行役員</td><td>松下 護</td></tr><tr><td>常務執行役員</td><td>小池 賢司</td></tr><tr><td>常務執行役員</td><td>小川 啓治</td></tr><tr><td>執行役員</td><td>邑上 豊隆</td></tr><tr><td>執行役員</td><td>清水 秀憲</td></tr><tr><td>執行役員</td><td>山村 慎一</td></tr><tr><td>執行役員</td><td>浅野間 博文</td></tr></table>			代表取締役社長 ハルナグループ COO	中澤 幹彦	取締役兼専務執行役員 (CTO)	古市 直也	取締役兼専務執行役員 (CMO)	山崎 敦也	常務執行役員	三原 修一	常務執行役員	松下 護	常務執行役員	小池 賢司	常務執行役員	小川 啓治	執行役員	邑上 豊隆	執行役員	清水 秀憲	執行役員	山村 慎一	執行役員	浅野間 博文
代表取締役社長 ハルナグループ COO	中澤 幹彦																								
取締役兼専務執行役員 (CTO)	古市 直也																								
取締役兼専務執行役員 (CMO)	山崎 敦也																								
常務執行役員	三原 修一																								
常務執行役員	松下 護																								
常務執行役員	小池 賢司																								
常務執行役員	小川 啓治																								
執行役員	邑上 豊隆																								
執行役員	清水 秀憲																								
執行役員	山村 慎一																								
執行役員	浅野間 博文																								



ハルナプロデュース株式会社

マーケティング本部

- ・営業 Unit
- ・ディストリビューション Unit
- ・ブランディング Unit
- ・商品開発 Unit

生産本部

- ・製造 Unit
- ・品質保証 Unit
- ・社会環境 Unit

ウェルネスサイエンス研究所

《組織の結合から繁栄の未来を実現する》 一人ひとりの努力、智慧、勇気、忍耐で未来を切り開く！

ハルナプロデュース(株)としてスタートし2年。営業、生産の両輪の中に商品開発の機能を持った会社として、時代の変化と顧客ニーズに応えるべく様々な取り組みにチャレンジしてまいりました。厳しい環境下ではありましたが、感動経営実現に向けての取り組みは、一つのビジネスモデルとして成果ある2年でもありました。

そして、2018年4月より新生「ハルナプロデュース(株)」として新たなスタートを迎えます。ハルナグループのビジョン「ハルナグループは独創性ある飲料プロデューサーになる」を達成すべく「商品企画開発」「生産、品質マネジメント」「営業、マーケティング」の3つの機能に「ハルナブランド商品販売」「ディストリビューション」の新たな機能を合わせ、価値創造企業へと総合機能を高めてまいります。

一人ひとりの努力、智慧、勇気、忍耐で未来を切り開く！ 事業を創造し発展させていく！日々「新しき挑戦」を実践し、繁栄の未来の実現と最高の社会貢献企業を目指してまいります。今後ともご指導よろしくお願いいたします。



ハルナプロデュース 株式会社
代表取締役社長 ハルナグループ COO
中澤 幹彦



営業 Unit

～ 「選ばれるブランド」の構築そしてその先へ ～

2017 年度までは自社ブランド、顧客ブランドそれぞれの顧客層に対して営業活動を行ってまいりましたが、2018 年 4 月、これを一体化することで、ますます多様化する顧客ニーズに対応するべく取り組みを進めています。

顧客接点を更に強め「もっと新しいもの、もっと美味しいもの、もっとドキドキするもの、もっと感動するもの」を創造します。そして、最終消費者に届けるために、選択肢の多い今だからこそ顧客の期待を上回る有形及び無形の価値を提供し「愛される」「選ばれる」企業ブランドを構築し顧客ブランド、自社ブランド双方の市場において、オンリーワンのポジションを確立するべく活動してまいります！

2018 年度の取り組み

① PB 飲料マーケットシェア No.1 へ

- ・ 自前のプラットフォームに顧客を取り込み共栄する
- ・ 顧客との協働による共創マーケティングの実践
- ・ 顧客と協働で消費者に価値を提供できる課題解決型マーケティングへ

② コーポレートブランドの展開強化

- ・ 独自コンセプトによる HARUNA ブランド価値向上
- ・ マルチブランド戦略で新たなハルナファンを獲得



ディストリビューションUnit

～ 既成概念を打破する物流サービスの構築へ ～

ディストリビューション Unit は、ハルナプロデュース物流部門として新たにスタートします。お客様の多様化する製品ストック～デリバリーのニーズに対し、運輸、倉庫保管、製品情報の3つの柱を競争力としてお客様と共に考え、共に解決する部門に進化してまいります。

事業目標（主要項目）

①物流営業 sec

- ・ 鉄道、海上コンテナ利用の促進。フルタイプトレーラー使用等、1台当たり1ケース積数の高効率化と配送単価低減を継続
- ・ 自社車両の増車。2台体制の運用による工場～倉庫間の横持ち。配送コスト削減

②倉庫 sec

- ・ 全拠点外部倉庫費用の削減（2017年度比△22%）
- ・ 保管製品品質向上のため、汚破損防止体制強化（100万c/sごと1.0件以下、ケース数量目標5ケース以下）

③情報部門

- ・ 物流IT、IoTの推進。自動化、省力化設備の企画、導入を推進
- ・ 物流管理データベースの機能拡張による製品情報一元化推進、業務効率向上



製造 Unit

新生ハルナプロデュースに和歌山プラントが加わりました

今年度のグループ組織再編により、ハルナプロデュース（株）の生産部門には、西日本の生産拠点として和歌山プラント（旧ハルナジョイバック（株））が加わり、6プラントによる生産体制がスタートしました。今回の組織再編においては、商品企画開発・販売・製造・物流までのバリューチェーンが一体となり総合力を活かすことで、付加価値を高め、多様化、個別化、高度化する市場ニーズに迅速に対応し、お客様サービスのさらなる向上を目指します。

2017年度においては、新たな製品の導入に取り組み、525mlに増量した茶系飲料、1.5ℓの緑茶、ユーグレナ飲料などの生産を新たに始めました。さらに今年4月からは600mlの茶系飲料の生産も開始しました。また、和歌山プラントでは生産量の増強のために連続生産体制を構築し、年間生産数量を大幅に伸ばし、より多くのお客様のご要望にお応えしております。

また、市場環境の変化や社会情勢が刻々と変化する中においても、安定的な工場の稼働を継続するために、電力やガスなどの効率的な使用と省エネルギー対策を進めることでローコスト生産に取り組んでおります。その中でも2017年度は、熱源からの放熱ロスを防ぐための保温カバーの増強や、電力使用量を抑制するために高効率な電気機器の導入などを進め、エネルギー使用量の削減に努めました。

また、さらなる製品品質の向上を目指し、お客様に安心して商品を購入し続けていただくために、国際的な食品安全規格であるFSSC22000マネジメントシステムの認証を、2015年度のハルナプラント、2016年度のタニガワプラントに続き、和歌山プラントにおいても2017年5月に取得いたしました。

2018年度の取り組み

- ①新たな液種、新たな容器の導入に積極的に取り組み、新たな需要を掘り起こすために、ハルナ・タニガワ・和歌山の3つの生産拠点が融合した力を最大限に活かします。
- ②生産の現場では改善活動を継続し、生産性の高い生産システムの構築を目指します。
- ③より安全な製品を、より効率的に生産するハイクオリティー・ローコストオペレーション体制の向上へ挑戦し続け、多くのお客様のご要望にお応えします。



和歌山プラント



和歌山プラント
メンバー



ハルナプラント
メンバー



タニガワプラント
メンバー

品質保証 Unit

創業以来、独立した品質部門を設置してきました。製品の安全性を維持、管理する体制を徹底しており、製造現場の衛生維持と管理向上や製品の安全性を確認、維持管理するために最終製品検査やシステム管理など幅広く管理を行っております。

また、2018年度より和歌山プラント（旧ハルナジョイパック（株））がハルナプロデュース（株）と一緒に会社になりました。品質部門はもちろんのこと、関係部署においても今後より一層、しっかりと情報共有、コミュニケーションをとり、何事にも真剣に取り組み、全社員一人ひとりが品質意識を持ち続け、これからもお客様に安全で感動していただける製品づくりを継続してまいります。地域は離れておりますが、全員が連帯感を持ち、取り組み意識や目標達成においても一体感を持って取り組んでまいります。

先輩社員の指導の下、若い力も育ってきており、頼もしい限りです。今後も大事に育て、より大きな力を発揮してくれることが、さらなる品質力向上にもつながり感動をお届けできると考えております。



ハルナプラント



タニガワプラント



和歌山プラント

2017 年度に行った食品安全への取り組み

FSSC22000 認証取得への取り組み

2006年に群馬県高崎市にあるハルナプラントにおいて、総合衛生管理製造過程（HACCP）承認を取得し、製造ラインの衛生と製品の安全性に継続して取り組んでおります。その取り組みを基本としてPDCAを回し、より良い環境づくりと仕組みを構築していくことで、2015年にハルナプラントで食品安全マネジメントシステムのグローバルスタンダードであるFSSC22000の認証を取得しました。これをはじめ、翌2016年には群馬県みなかみ町にあるタニガワプラントで、翌2017年には和歌山県海南市にある和歌山プラント（旧ハルナジョイパック（株））でも認証を取得し、すべての自社工場でのFSSC22000の認証取得をすることができました。総合衛生管理に基づいた取り組みおよび、食品安全マネジメントシステムをすべての自社工場で行うことで、飲料製造工場として安全性を確保し、今後も継続してより良い製品づくりに取り組んでまいります。

FSSC22000 とは？

食品安全マネジメントシステムの国際規格であるISO 22000と、それを発展させたISO/TS 22002-1（またはISO/TS 22002-4）を統合し、国際食品安全イニシアチブ（GFSI）が制定したベンチマークの承認規格です。世界の大手食品流通業者や大手食品製造企業様が取引先に認証取得を求めているグローバルスタンダードです。

FSSC22000

ISO22000
食品安全マネジメントシステム

HACCP
食品安全に関する技術的な手法

ISO マネジメントシステム
継続的改善を基礎とするシステム

+

産業分野ごとの技術仕様

ISO/TS22002-1:2009
（食品製造）
一般衛生管理を強化した
ガイドライン



和歌山プラント 認証記念写真



和歌山プラント認証

新たな取り組み ～顧客の声を聴く～

営業・企画サポート、各部門が連携し展示会・イベント等に積極的に出展。お取引先様および、その先に一般消費者の方と直接接点を持ち、そこで得られたモノを営業活動や商品開発に活かしてまいりました。

スーパーマーケットトレードショー 2018



FOOD EX 2018



東武百貨店池袋店 ナチュラル&オーガニックフェス



リアルサンプリングプロモーション



ビープルフェス Vol.6



2017年 取り組み商品

CHABAA ポメロ・マンゴー・グアバ

日本では珍しい「ポメロ」を中心にPRを実施。ベーカリーショップでも好評発売中！

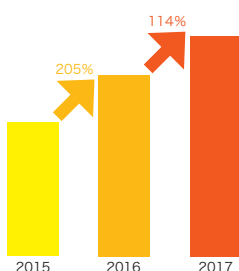


■トロピカルフルーツづくり
輸入販売のHARUNAは、トロピカルフルーツの飲料「CHABAA ポメロ」を発売した。ポメロは大きめのかんきつ類で、グレープフルーツに似た味わい。タイの飲料メーカーとの共同開発で、味は他にマンゴーとグアバがある。全て果汁35%で200ml入りの紙パック。オープン価格。
朝日新聞全国版でも取り上げられました

ルカフェ ルイボスグリーン

稀少な非発酵のルイボス茶葉「グリーンルイボス」を使用したすっきりとした飲み口のノンカフェインティー。テレビ等でルイボスティータが取り上げられたこともあり、年々出荷数が増えております。

人気急上昇！



無添加ナッツミルク 137 ディグリーズ

「第3のミルク」としてアーモンドミルク市場が活性化した1年。「無添加トータルナッツミルクブランド」として「137 ディグリーズ」の注目度が上がっております。ピスタチオミルクが人気急上昇中！

ピスタチオやカシューナッツミルクも、ローストして粉砕し、加工されている。ピスタチオはナッツの中でカリウムが多い。ウォールナツ(クルミ)は高めの血圧対策に向く。αリノレン酸が多い。

その他のナッツミルク

- むくみを予防
- 高めの血圧対策にも



日経ヘルス、ムック本等にも掲載！
インスタグラムでも多数投稿あり



HPP 飲料 コールドプレシャライズ

果汁飲料の新製法「冷圧殺菌」製法を取り入れた「コールドプレシャライズ」を発売いたしました。「冷圧殺菌」は「HPP」と呼ばれる高圧殺菌製法を取り入れ、日本の食品衛生法の基準に合わせた新しい製法です。タイの最新鋭の工場で生産したものを輸入しております。加熱をできる限り抑えることで、素材そのものの味わいを活かしたドリンクとなっております。



ファミリーマート、サークルKサンクスで発売いたしました

さらにその先へ…2018！

2018年もHarunaならではの「楽しさ」「美味しさ」「刺激が詰まった」商品をご提供してまいります！



HARUNA

Haruna Inc.

ブランドマネジメント・海外戦略

創 業	2008 年 4 月 1 日
所在地	東京本社：〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-8-4 日本橋さくら通りビル 2F TEL：03-3517-5745（代）FAX：03-3517-5759
役 員	代表取締役社長 青木日出生 取締役【非常勤】 青木麻生 取締役【非常勤】 小出信介

2018 年度より、HARUNA（株）はグループのさらなる発展に向け、現状の事業基盤をさらに成熟したステージに上げる活動と未来の新たな核となりうる事業を目指して進んでいきたいと考えております。不確実性・不安定性が増した昨今、企業は何を求められるのか？ それは継続する力であり、日本に合う働き方を創り出すことです。また、社会貢献向上・環境向上に努め、世の中から魅力があり必要とされる企業を目指していかないと生き残れなくなっております。

これからは中・長期をさらに見据え、ブランド力を磨き、新たな商品・市場を創り出し、また海外戦略を融合して日本、東南アジアを中心に欧米市場にも目を向け、新たなビジネスモデルが必要な時が来ると考えております。そういう意味で新たなステージを創るために、2018 年度は特に中・長期を視野に大切に邁進してまいります。

最後に 2017 年同様に大切なのは、私たちの商品はお客様に新たな発見を提供しているか？ 笑顔にしているか？を常に問うことです。シンプルに伝わるコンセプトの明確性、デザイン性、価格、味の追求を図り、さらに製造者としての安心・安全を引き続き本年度もお届けいたします。



HARUNA 株式会社
代表取締役社長
青木 日出生

HARUNA Asia (Thailand)

HARUNA Asia (Thailand) Co.,Ltd.

アジアマーケット

創 業	2013 年 4 月 22 日
所在地	本社：32/23, Sino-Thai Tower 2F., Sukhumvit 21 Rd. (Asoke), Klongtoey-Nua, Wattana, Bangkok, 10110 THAILAND TEL：+(66) 2258-0937 FAX：+(66) 2258-0939
役 員	代表取締役社長 青木日出生 取締役兼執行役員 牛久保純平 取締役【非常勤】 梅木英徹

2018 年 4 月をもって、タイの現地パートナーと統合し、1 年が経過いたしました。ようやくこの 1 年で、5 商品の開発・販売スタートを切りました。道半ばではございますが、これまで培ってきた経験と新たな経験、日本のノウハウ・技術をプライベートブランドの創出だけではなく、地域に見合った自社商品創出を引き続き目指します。

また、今後はタイでの成長と ASEAN の大きな市場を視野に、東南アジアでもトータルプロデュースの実現を目標に、タイ事務所内で商品開発員の技術強化を行い、新たなジャンルに挑戦し、品質の大切さも含め営業展開してまいります。

そして、自社商品づくりと現地商品とのコラボレーションにも視線を注ぎ、お客様に日本のトータルプロデュースとタイ人による開発・アイデアを融合したタイをはじめ、ASEAN で支持をいただけることに尽力いたします。

これからも微力ながらタイ王国に貢献し、タイ社会でも必要とされる企業を目指し、またハルナの商品を通し喜んでいただけますよう努めてまいります。

